

滞留水の貯蔵状況(6月18日時点)

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

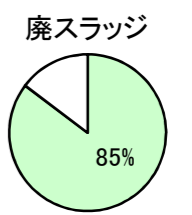
- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量
  - ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
  - ・処理装置(第二セシウム吸着装置)は運転中
- ②1~4号機タンク貯蔵量
  - ・淡水化装置による処理により、淡水及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
  - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ③5, 6号機滞留水貯蔵量
  - ・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり
- ④廃棄物発生量
  - ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

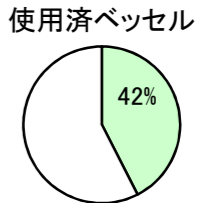
施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約13,100m <sup>3</sup>	OP.2,589
2号機	約16,300m <sup>3</sup>	OP.2,785
3号機	約17,900m <sup>3</sup>	OP.2,856
4号機	約15,800m <sup>3</sup>	OP.2,765
合計	約63,100m <sup>3</sup>	

貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約15,290m <sup>3</sup>	OP.4,319
高温焼却炉建屋	約5,120m <sup>3</sup>	OP.3,428
合計	約20,410m <sup>3</sup>	

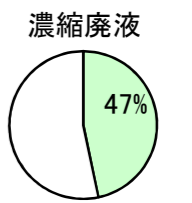
④廃棄物発生量



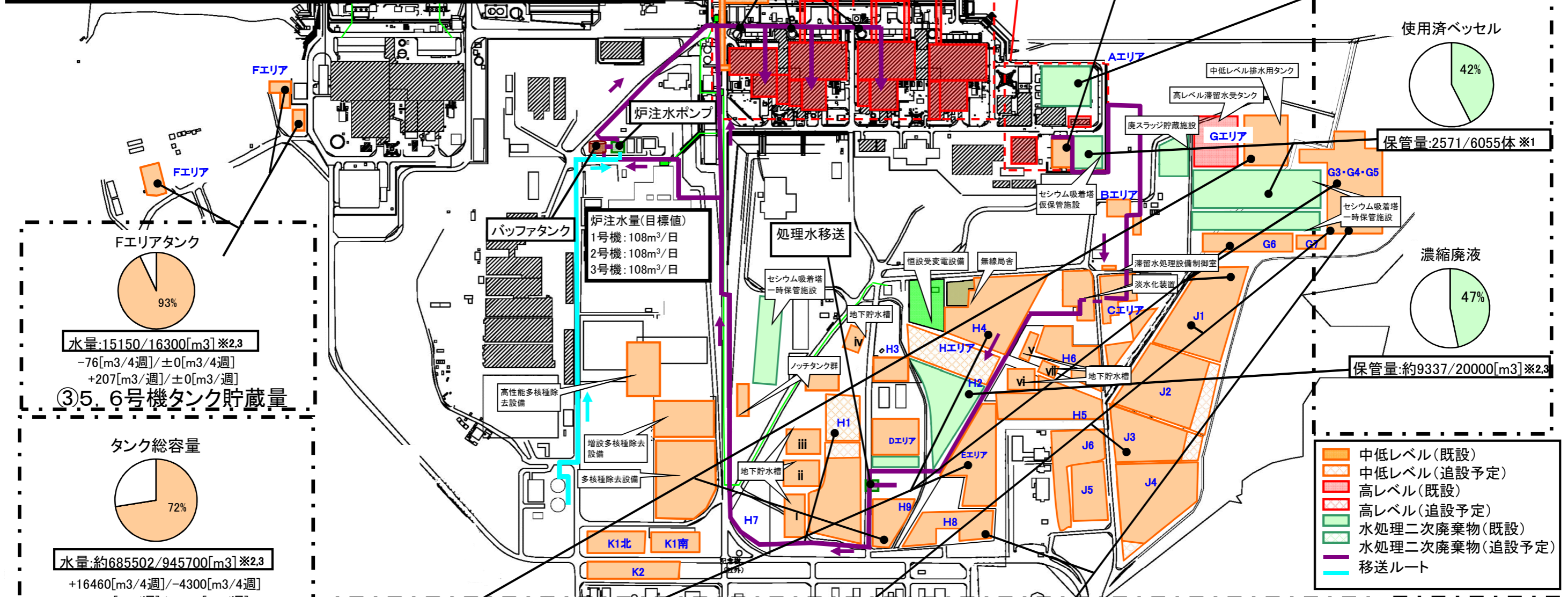
保管量:597/700[m<sup>3</sup>]\*3



保管量:2571/6055体\*1

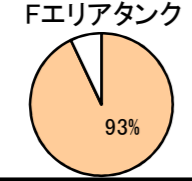


保管量:約9337/20000[m<sup>3</sup>]\*2,3

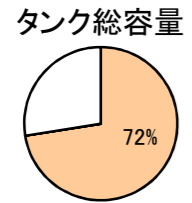


- 中低レベル(既設)
- 中低レベル(追設予定)
- 高レベル(既設)
- 高レベル(追設予定)
- 水処理二次廃棄物(既設)
- 水処理二次廃棄物(追設予定)
- 移送ルート

③5, 6号機タンク貯蔵量

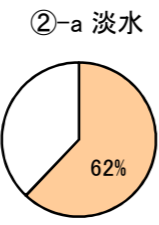


水量:15150/16300[m<sup>3</sup>]\*2,3  
-76[m<sup>3</sup>/4週]/±0[m<sup>3</sup>/4週]  
+207[m<sup>3</sup>/週]/±0[m<sup>3</sup>/週]



水量:約685502/945700[m<sup>3</sup>]\*2,3  
+16460[m<sup>3</sup>/4週]/-4300[m<sup>3</sup>/4週]  
+3978[m<sup>3</sup>/週]/+7100[m<sup>3</sup>/週]

タンク貯蔵量合計(②+③)

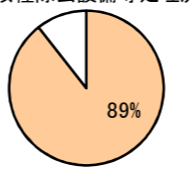


②-a 淡水  
水量:約17071/27500[m<sup>3</sup>]\*2,3  
水位計0%以上の水量:16071[m<sup>3</sup>]  
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約1000[m<sup>3</sup>]  
+385[m<sup>3</sup>/4週]/±0[m<sup>3</sup>/4週]  
+536[m<sup>3</sup>/週]/±0[m<sup>3</sup>/週]

②-b濃縮塩水(残水)

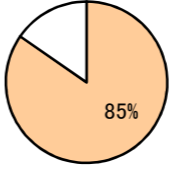
②-b 濃縮塩水(残水)  
水量:約4500/164200[m<sup>3</sup>]\*2,3  
水位計0%以上の水量:約1200[m<sup>3</sup>]  
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約3300[m<sup>3</sup>]  
-14872[m<sup>3</sup>/4週]/-59200[m<sup>3</sup>/4週]  
-1400[m<sup>3</sup>/週]/±0[m<sup>3</sup>/週]

②-c 処理水(多核種除去設備等処理済水)



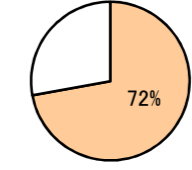
②-c 処理水(多核種除去設備等処理済水)  
水量:約458526/512900[m<sup>3</sup>]\*2,3,4,6  
水位計0%以上の水量:457526[m<sup>3</sup>]  
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約1000[m<sup>3</sup>]  
+23011[m<sup>3</sup>/4週]/+37800[m<sup>3</sup>/4週]  
+3605[m<sup>3</sup>/週]/+7100[m<sup>3</sup>/週]

②-d Sr処理水等



②-d Sr処理水等  
水量:約190255/224800[m<sup>3</sup>]\*2,3  
水位計0%以上の水量:187255[m<sup>3</sup>]  
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約3000[m<sup>3</sup>]  
+8012[m<sup>3</sup>/4週]/+17100[m<sup>3</sup>/4週]  
+1030[m<sup>3</sup>/週]/±0[m<sup>3</sup>/週]

1~4号機タンク総容量



1~4号機タンク総容量  
水量:約670352/929400[m<sup>3</sup>]\*2,3,4  
水位計0%以上の水量:662052[m<sup>3</sup>]  
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約8300[m<sup>3</sup>]  
+16536[m<sup>3</sup>/4週]/-4300[m<sup>3</sup>/4週]  
+3771[m<sup>3</sup>/週]/+7100[m<sup>3</sup>/週]

水量:約755179[m<sup>3</sup>]

+12933[m<sup>3</sup>/4週]\*5  
+3937[m<sup>3</sup>/週]

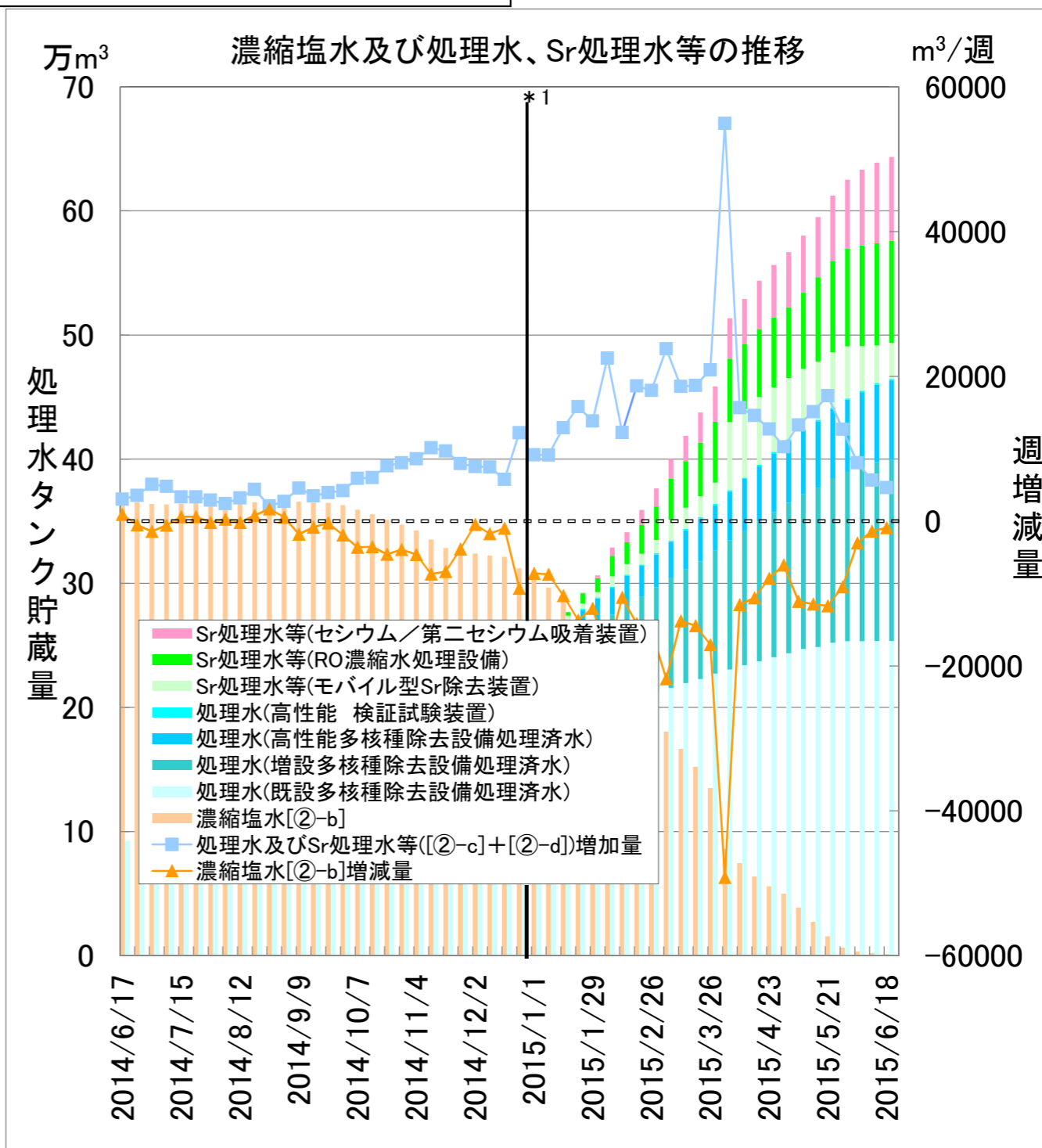
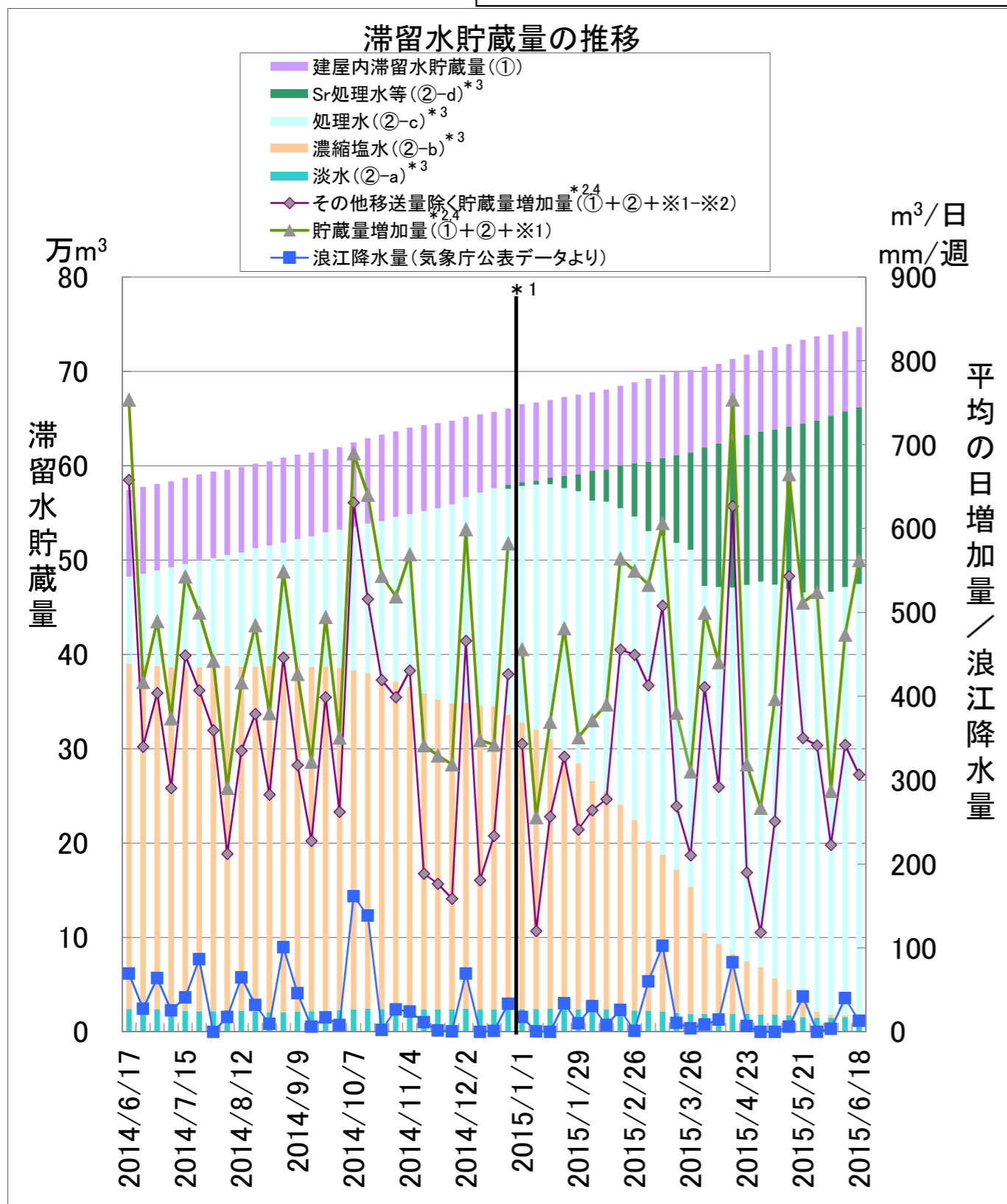
建屋内貯蔵量  
+  
1~4号機タンク貯蔵量  
(①+②)

②1~4号機タンク貯蔵量

タンク堰内水の一時貯留量(\*6月23日時点の値を記載)  
・ノッチタンク群 約1100(±0[m<sup>3</sup>])/約4900[m<sup>3</sup>]

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む  
 ※2 装置稼動中につき水位が静定しないため参考扱い  
 ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)  
 ※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵  
 ※5 ウェルポイント(約540m<sup>3</sup>/週)、3号機廃棄物地下貯蔵設備建屋から3号機廃棄物処理建屋(約200m<sup>3</sup>/週)、1号機復水貯蔵タンクから1号機廃棄物処理建屋(約860m<sup>3</sup>/週)の移送量約1600m<sup>3</sup>/週を含む  
 ※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む

## 滞留水の貯蔵状況の推移



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))

②: 1~4号機タンク貯蔵量([②-a淡水]+[②-b濃縮塩水]+[②-c処理水]+[②-dSr処理水等])

※1: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

※2: ウェルポイント汲み上げ量、建屋間の連通がない建屋から連通がある建屋への移送量、

多核種除去設備薬液注入量等の合計

処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m3]	[m3/週]	[m3/日] <sup>注1)</sup>	[m3/日]
既設多核種除去設備 <sup>注2)</sup>	253,547	116	17	750以上
増設多核種除去設備	145,830	1,762	252	750以上
高性能多核種除去設備	64,111	1,727	247	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50
Sr処理水等	Sr処理水等 <sup>注3)</sup>	期間処理水		定格処理量
	[m3]	[m3/週]	[m3/日] <sup>注1)</sup>	[m3/日]
RO濃縮水処理設備	82,194	-6	-1	500~900
セシウム吸着装置	67,509	2,565	366	600
第二セシウム吸着装置				1200
モバイル型Sr除去装置	Sr処理水等[m3] <sup>注3)</sup>			
	29,092			

注1) 週間の平均値

注2) 既設多核種除去設備処理水の一部は、残水があるRO濃縮塩水タンクに移送し、Sr処理水等として貯蔵

注3) 多核種除去設備等による処理を開始、Sr処理水等の処理を実施し、多核種除去設備処理水として貯蔵

\*1: 2015/1/1より集計日を変更(火曜日→木曜日)

\*2: 2015/4/23より集計方法を変更(貯蔵量増加量(①+②)→(①+②+※1)、その他移送量除く貯蔵量増加量(①+②-※2)→(①+②+※1-※2))

\*3: 水位計0%以上の水量

\*4: 過去のデータにつき内容を精査し修正を実施。